

平成25年度 感染症疫学分析のための研修会
—感染症危機事例の迅速な検出およびリスク評価—

本研修会は公衆衛生従事者が国際保健規則の考え方を認識し、実地の感染症疫学分析の能力の向上を図ることを目的とし、昨年度まで開催の「公衆衛生活動の遂行能力向上セミナー」も兼ねて、学会総会時に開催するものです。

本年度の研修会では、「感染症危機事例の迅速な検出およびリスク評価」をテーマとし、感染症の最新の話題提供とともに、感染症を含む健康危機イベントのスクリーニングやリスク評価の考え方を、ケーススタディを通して学ぶことにより、特に感染症危機事例の迅速な検出及びそのリスク評価ができるようになることを目標といたします。奮ってご参加ください。

なお、本セミナーは修了書を発行し、公衆衛生学会認定専門家制度のクレジット(20点)を提供します。

日 時：10月25日（金）13時～17時
会 場：三重県総合文化センター 第7会場 大会議室
内 容： ※ワークショップ形式で開催します。

- 趣旨説明（座長：角野文彦／滋賀県健康福祉部）
- 基調講演1「国際保健規則（IHR）について」
（谷口清州／国立病院機構三重病院 臨床研究部 国際保健医療研究室）
- 基調講演2「新興感染症への IHR に基づく対応について—鳥インフルエンザ A(H7N9) と MERS コロナウイルスへの IHR の対応を中心として」
（押谷仁／東北大学大学院医学系研究科微生物学分野）
- 講義「サーベイランス（EBS and IBS）と迅速なリスク評価とは」
（中島一敏／国立感染症研究所感染症疫学センター）
Event-based surveillance（アウトブレイク等のイベントを報告するサーベイランス）
Indicator-based surveillance（症例個々の情報を報告するサーベイランス）
- 講義「EBS のリスク評価会合に向けて準備すること」
（松井珠乃／国立感染症研究所感染症疫学センター）
- 講義「EBS と IBS の実例としての災害後の感染症サーベイランスについて」
（砂川富正／国立感染症研究所感染症疫学センター）
- ケーススタディ「情報収集・分析、リスク評価の実施」（グループ討議・発表）
（予定 砂川、中島、八幡、山岸、加來、神垣、古宮、吉田）

対 象 者：公衆衛生学会参加者（医師、保健師、食品衛生監視員、大学等の研究者等）

定 員：50名程度

参 加 費：2,000円（資料代含む）

申込方法：裏面の申込用紙に必要事項を記載の上、9月20日までに下記問合せ先宛てに FAX または E メールにて送付してください。様式は本学会ホームページに掲載している Word ファイルをご利用下さい。

主 催：日本公衆衛生学会 感染症対策専門委員会

共 催：日本公衆衛生学会 教育・生涯学習委員会

日本公衆衛生学会 地域保健対策専門委員会

[詳細・最新情報はホームページでご確認ください。]

問合せ先：日本公衆衛生学会 事務局

TEL 03-3352-4338 FAX 03-3352-4605 E-mail phgakkai@jpha.or.jp

「感染症疫学分析のための研修会」に参加をご希望される方は必要事項を明記の上、
9月20日までにお申し込みください。

FAX 03-3352-4605

日本公衆衛生学会感染症対策専門委員会主催

感染症疫学分析のための研修会

参加申込書

【申請者】

ふりがな ()

氏名 _____ 会員No. _____

所属機関 _____ 部署 _____

職種 _____ (医師・歯科医師・保健師等) 役職 _____ (課長・講師・助教等)

連絡先住所 〒 _____

(勤務先・自宅) どちらかに○をつけてください。

Tel. _____ Fax. _____

E-mail _____ @ _____

参加費用 2,000円 (資料代を含む)

(交通費、宿泊費等は別途自己負担です。)

受講が決定しましたら、振替用紙を送付しますので、参加費用をお振込下さい。

入金を確認次第、受講通知をお送りいたします。

いただいた参加費用はお返しできませんので、ご承知下さい。

この度は当研修会にお申し込みいただきまして有り難うございました。